



御嵩建築

雨楽な家  
URAC MODERN



## 木の郷ぎふの家 御嵩建築 の住まい創り新聞

Vol.26

今回のテーマ

現場レポート

収納術・洋服の捨てどきの見極め方



雨楽な家 笑家族SK-28  
リビング

### 現場レポート

#### ◎軒樋防葉ネット工事(御嵩町のH様邸)

一年点検時に裏山の木の葉っぱが樋に詰まるということで、  
樋に防葉ネットを被せることにしました。  
落ち葉の季節の前に対策ができてこれで安心ですね！

#### ◎水まわりリフォーム(可児市I様邸)

納戸をキッチンにリフォームすることにしました。  
間仕切りを解体して、カウンターと開口をつくります。  
キッチン設備の水道配管や電気配線をします。換気扇のダクト配管もします。  
パテ処理をして、下地をきれいに整えます。  
カウンターや枠の塗装も終わり、壁紙を貼ります。

#### ◎巨大オープンテラスの完成(M幼稚園改修工事)

開放感溢れる、明るいオープンテラスが完成しました。  
極太な木材を使った、頑丈なテラスです。

【当社ホームページより抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】



### Topics

#### ◎岐阜新聞の取材を受けました。

取材から数日...  
10月30日の岐阜新聞に載りました！

#### ◎リクルート スーモ 撮影しました(御嵩町H様邸)

岐阜の注文住宅 冬春号の撮影をしました。  
今回ご協力をいただいたのは、御嵩町のH様邸です。

当社を選んでいただいた理由、住みこち、アフターなど...  
色々とお聞かせいただきました。  
12月21日発行ですのでお楽しみに！



#### 地元の木は地元で使う

「木は、育ったところで使うのに適している」と話すのは、御嵩建築(可児郡御嵩町)の亀井和彦社長(43)。同町や可児市を中心に住宅建築やリフォームを手掛ける。オリジナルブランド「木恵み」を上手に使うことが大事と話す。アフターサービスにも力を入れる。住宅で起きる問題は、水漏れなど緊急を要するものが多いという「呼ばればすぐ行く」というのが、「事前に気付くことも大事」と、定期点検にも力を入れている。

「木は、育ったところで使うのに適している」と話すのは、御嵩建築(可児郡御嵩町)の亀井和彦社長(43)。同町や可児市を中心に住宅建築やリフォームを手掛ける。オリジナルブランド「木恵み」を上手に使うことが大事と話す。アフターサービスにも力を入れる。住宅で起きる問題は、水漏れなど緊急を要するものが多いという「呼ばればすぐ行く」というのが、「事前に気付くことも大事」と、定期点検にも力を入れている。

#### 近況

の郷(さと)ぎふの家」は、「地元のことをよく知った地元の職人が、地元の素材を使い、地元で創る家」というコンセプトだ。県産材を中心に使う。「環境やエコについて考えると、移動距離が短いほうがいい。また、山も荒れなくなる。森の恵み」を上手に使うことが大事と話す。

## 収納術・・・ものに「指定席」を与え同じ場所に戻す習慣を

片付け上手な人は、無駄なものを時々見直して上手に捨てています。片付けはちょっと苦手という人は、部屋の収納キャパシティ以上にものを持ちすぎているか見直す習慣をつけましょう。それと、ものがあふれているからと、収納家具をどんどん増やすと收拾がつかなくなります。収納スペースに収まる量に減らしましょう。

整然とした状態を保つために、持ちものに「指定席」を与え、同じ位置に戻す習慣をつけることです。あるべき場所に整然とものが収まっていると、気持ちよく過ごせます。また、ものに居場所を与えることで、収納空間に合った適量も分かります。

## 「洋服の捨てどき」の見極め方！こんな洋服は捨てる候補

### 型が古くなった

その洋服を着て外出し、人に会っている自分を想像してみよう。

「流行遅れで恥ずかしい」「気後れしそう」と少しでも思うなら、捨てるのが正解です。

### 衝動的に買ったが、なんとなく似合わない気がする

「買ってはみたものの、イマイチしっくりこない」という服は、結局は好みではなかったということ。

手持ちの服にも合わないなら、この先も着る機会はないですね。

### 高価だった

「〇万円もしたのに...」と買ったときの価格を思うとなかなか捨てられないもの。

でも、その金額よりも「スッキリした使いやすいクローゼット」のほうに価値があるはずですよ。

### 飽きた

一度飽きてしまった服を再び着る可能性は低い。衣替えのたびに着ない服を出し入れするのは時間のムダ。

3年以上着なかった服は思い切って処分しましょう。

### 気に入っているが、取れない汚れがある

汚れやシミの付いた服はだらしく、清潔感のない印象を相手に与えます。

部屋着として着られるもの以外は、名残惜しくてもお別れしよう。

### 着た後の手入れが面倒

普段着なのにアイロンがけが必要だったり、洗濯に手間がかかるモノは着るのがおっくうになりがち。

「面倒でも着る？」と自問し、「できない」なら捨てどきです。

### 着ていると疲れる

年を重ねるごとに「気やすさ」を重視して服を選ぶようになるもの。

着ていて肩が凝る、リラックスできない、といった服は手放していいかも...

### 今の自分の生活に適さない

ライフスタイルの変化に伴って身につける服も変わります。今の生活に必要ななら捨てる判断を。

### 体形が変わり、合わなくなった

すぐに体形が戻って着られるならOK。でも、なかなか元の体形に戻れず何年もたった場合、結局は流行遅れに。

体形がいつ戻るか分からないなら捨てる勇気を。

### 思い出が詰まっているが、今は着ない

思い出があり、着なくても眺めるだけで満足できるようなら取っておくのもアリ。でも、増えすぎて生活スペースを圧迫するなら、潔く

捨てたほうがベターです。



達人に聞いた、整理整頓のコツ

- 1 不要なものは捨てる勇気を
- 2 ものには指定席をつくる
- 3 収納力を高めるテクニックを知る

## 株式会社御嵩建築 太陽光発電所 9月発電量

発電量 508kwh

売電量 396kwh

売電金額 16,632円

最高発電日とその日の発電量

26日の24.5kwh

最高売電日とその日の売電量と売電金額

26日の21.9kwh/919円



木の郷ぎふの家 (株)御嵩建築

〒505-0122 岐阜県可児郡御嵩町顔戸800-1

TEL 0574-67-4787 / FAX 0574-67-5519

2012年11月 発行